

令和5年度 図書館運営評価 ～誰もが使いやすい図書館をめざして～

当館では、基本理念「学びの場からつながる場へ」に基づき、「めざす姿」を4つ掲げて、図書館運営を行っています。運営やサービスの向上を図るため、利用状況や利用者からのご意見を元に職員で振り返りを行い、図書館協議会委員による評価を経て、令和5年度の運営評価を取りまとめました。

今後毎年、評価を継続し、皆さんの居心地のいい居場所となり、人との交流によってにぎわう空間となるよう改善や工夫を行っていきます。

詳細はこちらから

運営評価
(図書館HP)



評価手順
(PDF)



良質な図書館サービスの提供が 図られている(めざす姿①)

開館以降、市内外からたくさんの方にご利用いただき、令和5年度末に入館者数の累計は33万人に達しました。館内をおしゃべりOKなフロア(1・2階)とゆったりとした学びのフロア(3・4階)に分け、環境を整えています。また、電子図書館の導入により、手軽に読書を楽しむ機会を増やすことができました。

あらゆる人が快適に過ごせるということを大切に、利用者満足度の向上を図ります。また、まだ来館することがない人や図書館への来館が難しい人のために、図書館職員が地域へ訪問する「地域読書活動拠点」の取り組みを整備し、図書館の魅力を伝えていきます。

学びと交流の場となる図書館 (めざす姿②)

図書館の利用の手引きの作成や行政連携によるテーマ図書展示、スタッフおすすめの本の展示などを行い、本との出会いの機会を提供しました。図書館ボランティア、行政、市民団体等との連携で多彩なイベントを開催することができ、イベントを通して交流の場や学びの場が広がっています。このような取り組み事例を、全国版の研修会等で発表しました。同時に、他の図書館の事例についても知識を深め、当館の環境整備に活かすことができました。

今後も、市公式LINEやFacebook、図書館ホームページ等を活用し、より効果的な情報発信を行っていきます。そして、図書館におけるイベント時の施設利用について、一定の方針を定めていきます。



市の事業や行事などの情報を集め、館内各所で発信しています。

地域の情報源となる図書資料の充実(めざす姿③)

図書館では、地域資料の収集・保存を行い、情報提供を行っています。また、レファレンスサービスとして、日常の中で生じた疑問について調べるお手伝いもしています。しかし、このサービスの認知度はまだ十分ではなく、利用者数も限られているのが現状です。

今後も利用方法の周知案内を継続し、サービスの利用促進に努めていきます。また、これまでの事例を蓄積し、地域資料を体系的に収集することで、より充実した対応を目指していきます。



読書を通して希望に輝く心豊かな子どもたち(めざす姿④)



保育園・幼稚園へのおはなし会の訪問や、市立図書館の本を学校図書館で借りることのできる「ほんくる。」を開始し、子どもたちに読書の機会を広めています。

遠足や、社会見学などで訪れた園児や児童生徒に、利用案内や貸出体験などを通して、図書館を身近に感じてもらうことができました。子どもたちは、「またお家の人と来ます!」と笑顔で帰っていきます。

学校教育課による初期対応教室「サークルルーム」の場所としても機能しており、学校に行きづらい子どもたちのための多様な学びの場を提供しています。また、親子で楽しむ工作など、体験型のイベントを開催することで、図書館好きの子どもが増えています。

中高生の来館者数は、旧図書館と比べると大幅に増加しました。学習利用が大半ですが、時にはグループ学習室で和気あいあいと活動する姿も見られます。今後は、中高生が学習の合間に本に触れたり、多彩なイベントに参加・参画できる機会を増やしていきます。

編集者ひとこと

図書館ボランティア団体や地域団体の皆様をはじめ、行政内からも「図書館でこんなことをしたい」という声をいただき、年間を通して様々なイベントが開催できました。ビブリオバトルの観戦者の人からは新しい本と出会えたことへの喜びの声をいただいたこともあり、市民の皆様読書活動の機会の提供ができたと思っています。

今後は、多くの人にもまだ知られていないレファレンスサービスや電子図書館などの、便利なサービスを周知・案内していきたいと思ひます。

